

CONTENTS

第1章 うんこは人間だと思っている

はじめに 2

生きる喜びを感じる瞬間

人間が道具を使わないで唯一創造するのはうんこ

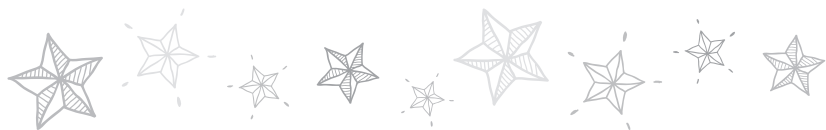
子どもが教えてくれたギョウチュウのこと

大人はなぜ子どもの気持ちをわからないのか

ふたつの家族とふたりの自分を生きている

いじめられたけどありがたい言葉

14 18 23 27 30 34



第2章 何者でもない私を生きる

田んぼの誓い

38

住みたいところから思いを叶えたら占い師になっていた

44

なぜ占い師でなければいけなかったのか

51

クライアントの悩みを経験として学ぶ

55

占いは目の前の相手を変えることではない

59

自分にお金として返ってくるのは半年後

62

占い師が人気になるのではなく思いが一致しただけ

65

大事なことは失うとわかる

68



第3章 占い師になってみました

占い師も占いに悩んでいる

悩みはタロットを使わなくても解決できる

人の悩みは人と違うところを探しているから

普通や同じであることに安心する

占い師が相談者の痛みに触れるとき

笑顔で共感するより冷静に同調するほうが感動を生む

鑑定カルテであなたの悩みは忘れない

74

77

82

85

89

92

96

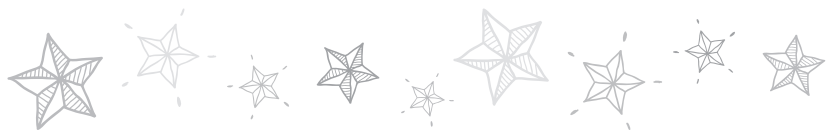
第4章 悩みは言葉にできれば悩まなくなる

何者でもない私を生きるから自分を見る視点がわかる

自分を知りたいから占いにのめり込んでいた

102

105



第5章

余命の生き方があるならば食べて出して寝ればいい

やりすぎた占いが先入観を生む

人の悩みは人と違うところを探している

人は悩んでいたい占いはなくならない

やりたいことは全部やる体感を楽しませることが出来る

催眠療法で前世や過去はあってもなくてもいい

おにぎりで自殺者を減らしたいのだ

人の世話になっても染まらない

やる事がなくなったら占いに戻ればいい

人の目で見ている現実には限界がある隠された意識の話

誰かの決めたタロットの扱いから自由に使う

タロットや占いの教育で世界の何が変わるか



あとがき

154

仕事は他人のためにあるから生きたほうが楽